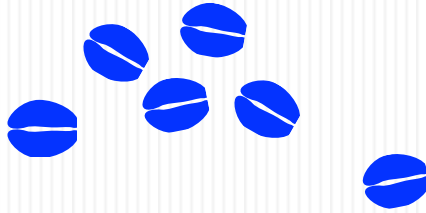


イノベティブな生き方をするTop Runner 達と

お茶を楽しみませんか？



INNOVATIVE DESIGN CAFÉ

イノベーションが生まれる過程には、
多様な視点に触れることが必要なのではないのでしょうか。
イノベティブデザインカフェでは、様々な領域のトップ
ランナーと対話することで、イノベーションの種を得る機
会を提供します。コーヒーとスイーツを準備しております。
ゆっくりとくつろいだ中での会話をお楽しみ下さい。

開催日時：6月6日（金） 10：00-17:00

場所：東京大学先端科学技術研究センター 1号館 205号室

① 10:00-10:45

学びを引き出す「できる」をデザインする

「できない」という意識や環境は、子どもたちが学ぶ時のバリアになります。テクノロジーや活動を通して「できる」環境をデザインすることが、子どもに「できる」という感覚をもたらし学びを引き出していくことに繋がります。そのデザインの過程をお話したいと思います。

平林 ルミ 東京大学先端科学技術研究センター 助教

新谷 清香・福本 理恵

東京大学先端科学技術研究センター 学術支援専門職員

② 11:00-11:45

仕事場のダイバシティをデザインする

仕事を画一化していくことは効率性をあげるかもしれませんが、しかし個人が多様な能力を発揮しながら、特性に応じて職場環境を整えていくことで新たな働き方を模索することができます。この新しいダイバシティのあり方についてお話しします。

近藤 武夫

東京大学先端科学技術研究センター 准教授

③ 13:00-13:45

ものの見方をデザインする

ものをずっと観察すると、色々な発見や気づきがあります。止まっているものでさえ、見方を変えればそこに動きが見えてきます。私が普段からものをどのように見ているかお話しをしてみましょう。



鈴木 康広 アーティスト

東京大学先端科学技術研究センター 協力研究員

④ 14:00-14:45

落としどころをデザインする

多くの人たちが使うプロダクトをデザインする時に、様々な意見や好みといった要素が乗ってきます。プロダクトデザイナーの仕事はそのデザインに主張を持ちつつ、落としどころを見い出していかなければなりません。その点について私の考えをお話しします。



神原 秀夫 プロダクトデザイナー

東京大学先端科学技術研究センター 助教

⑤ 15:00-15:45

ヒューマニティをデザインする

機械がヒューマニティをもつことによって、人はコミュニケーションを始めていく。外形、色、動き、様々な要素を組み合わせるとロボットに人間性を与えていくデザインについてお話しします。



高橋 智隆 ロボットクリエイター

東京大学先端科学技術研究センター 准教授

⑥ 16:00-16:45

イノベーションを生み出す社会とは？

凸凹のない社会や凸凹の少ない人たちの集団は安全・安心な感覚を我々にもたらします。また、効率という点から見ても優れています。しかし、その集団は、お互いを尊重し合うあまり、突き抜けたアイデアを提案しにくい形態だといえます。凸凹な社会や集団はマネージメントに苦慮するものの魅力的であり、そのダイナミズムがイノベーションをもたらします。

中邑 賢龍

東京大学先端科学技術研究センター 教授



お申し込みについて



下記URLのお申し込みサイトから
各セミナーごとにご予約下さい（各定員15名）

①10:00-10:45



学びを引き出す「できる」をデザインする

<http://kokucheese.com/event/index/179205/>

②11:00-11:45



仕事場のダイバシティをデザインする

<http://kokucheese.com/event/index/176780/>

③13:00-13:45



ものの見方をデザインする

<http://kokucheese.com/event/index/179203/>

④14:00-14:45



落としどころをデザインする

<http://kokucheese.com/event/index/179206/>

⑤15:00-15:45



ヒューマニティをデザインする

<http://kokucheese.com/event/index/179207/>

⑥16:00-16:45



イノベーションを生み出す社会とは？

<http://kokucheese.com/event/index/179208/>